

NEXT STAGE

ネクスト ステージ

Saitama City
Support Magazine

2018年 No.33

イノベーションで未来を創る

企業 Interview

ギネナム株式会社

株式会社ドラEVER

株式会社デジタルベリー

株式会社朝日ラバー

福利厚生制度「ワークジョイさいたま」に入会してみて

株式会社チェリービー

「さいたまブランド」

株式会社氷川ブリュワリー

餃子の宮 でんでん

注目企業におじゃまします!

有限会社藤宮製菓

株式会社熊谷珈琲



公益財団法人 さいたま市産業創造財団

ギネマム株式会社

医療用シリコーンゲルシートで、 人々を笑顔に。

「帝王切開後の傷あとを少しでもきれいにケアして、多くの女性に笑顔になってほしい」そんな思いから起業し、商品開発を始めたギネマム株式会社。医療用シリコーンを用いたシートは、“術後の傷あとケア”という気づきをもたらし、わずか2年の間に全国500以上もの産婦人科病院で取り扱われるようになりました。そして今、新たな商品への取り組みも進んでいます。



構想と熱い思いだけを胸に まったくのゼロからのスタート

帝王切開後に残る手術の傷あとをケアする商品は、以前勤務していた製薬会社でも製造・販売をしていました。改良点が多く、会社に何度も提案しましたが、受け入れてもらえず、それならば自分でつくろうと起業したのが2015年のことです。頭の中に構想はあったものの、当初は資金なし・工場なし・売るところも決まっていなかった。ただ、改良すべき点はわかっていたので、粘土で形にして特許をとり、はがれにくく洗って何度も使える“粘着力の強い医療用シリコーン”にこだわって試行錯誤を繰り返し、半年以上かけてようやく商品として納得できるものが完成しました。

販路の開拓は、起業時は社員2人で営業活動が厳しいことから、産婦人科の学会での展示に絞りました。初めてのことでは要領がわからず、商品の展示だけをしていたところ、予想以上に反

響があり、250件もの産婦人科から説明会のオファーがありました。帝王切開後の傷あとのケアに関しては、それまでは皮膚科や形成外科によるもので、産婦人科では直接的なケアをしていなかったことから、「使いたい」と申し出てくれる病院が殺到し、今では全国500以上の産婦人科で取り扱っていただき、その数は年々増加しています。

起業としての成長を支えてくれる 財団のさまざまなサポート

産婦人科での販路が広がる中、手術をした子どもの傷あとを気にするお母さんたちがたくさんいるとの声を聞き、小児用でも展開するために2016年の第32回日本小児外科学会秋季シンポジウムに出展しました。そこで財団の方々と知り合い、さいたま市の「さいたま医療ものづくり都市構想」や財団がさまざまな支援をしていることを初めて知りました。それ以来、展示会が開催されるときに必ず声をか

代表取締役 久保田 秀一 氏

大手製薬会社のMR（医療情報担当者）として医療機器・製品の営業販売に携わる。MR時代に、帝王切開の傷あとの問題に悩む女性のニーズや販売していた他社製シリコーンゲルシート製品の問題点に着目し、2015年に起業。



▲レディケア粘土原型：粘土で基本形状を作成。全てはここからスタート。これを基に特許出願、融資先、販売先を開拓。

▼レディケア16：帝王切開用の長さ16cmのシリコーンゲルシート（医療用シリコーン使用）



けていただいたり、シリコーンゲルシートを製造するさいたま市内の企業を紹介していただいたり、新製品の開発に対する補助金制度を教えていただいたりと、さまざまな面で支援をしてもらっています。特に補助金制度については全く知らず、会社としてバックボーンが何もないため資金面でいつもギリギリだったので、大変助かりました。現在は、財団の「医療ものづくり試作品開発・製品化事業補助金」を利用して、新たに甲状腺の手術後の傷あとのケア用と小児ヘルニア用のシリコーンゲルシートを開発し、販売に向けて準備を進めています。

海外進出も視野に入れながら これからもギネナムならではの 医療貢献を

起業して2年が経ち、弊社の医療用シリコーンゲルシートは、産婦人科から小児外科、甲状腺術後の患者さんと、活用の方がどんどん広がっています。今後も、たとえば義手や義足の方

など、必要とされる方々にスポットをあて、新しい製品開発を手がけていきたいとの思いがあります。さらには、出産といえば帝王切開が主流である中国やアジア各国でのインターネット販売も検討しています。

ももとは帝王切開後の傷あとケアとして開発、販売した「レディケアシリーズ」は、その後もより良いものを目指し、改良を重ねています。この先、ライバル社も現れると思いますが、軽量化や粘着力の強化など、もっと工夫をして、さらに良い製品をつくり、ひとりでも多くの方に、笑顔になってほしいと思います。これからも、財団からアドバイスや支援をいただきながら、大手メーカーにはできないフットワークの良さで、今まで注目されずに困っていた潜在ニーズを満たし、医療で貢献できればと思っています。



▲レディケア【ナチュラル8 UVカット】サンプル：甲状腺・耳鼻科手術用の薄型・着色・UVカット加工製品を開発中。2018年4月発売予定



▲甲状腺貼付例：甲状腺・耳鼻科疾患の傷は、首周りの為、柔らかく目立たない工夫が必要。

支援内容・制度

金融機関連携成長支援事業 専門家派遣制度（H28～29年度）

金融機関からの紹介で、「経営力向上計画」及び「経営革新計画」の策定を支援。現状及び事業環境分析や販売計画、計数計画などの立案、アクションプラン策定などを支援し、両計画の承認を取得した。

医療ものづくり試作品開発・製品化 補助事業（H29年度）

小児ヘルニア（でべそ）治療用シリコーンゲルシート、甲状腺傷あとケア用シリコーンゲルシートの開発のための試作開発費や医師からの評価関連費用などの補助金制度（200万円）を活用。試作品開発や学会出展やモニタリングなどにより、製品開発と市場化を図っている。

さいたま市ニュービジネス大賞 2017 ものづくりスター賞受賞

ビジネスプランの実現に向けた支援のほか、受賞者紹介パンフレット、ポスター制作。製品紹介動画制作などで企業PRを支援した。

さいたま医療ものづくりフォーラム 2018 出展

さいたま市の医療ものづくり企業として企業展示。参加医師との意見交換や評価協力、製品のPRなどにつながる。

企業概要

ギネナム株式会社

【所在地】さいたま市南区太田窪1957
第三星野ビル5階

【創業年】2015年

【事業内容】医療機器製造販売業（手術後の傷あとケア用シリコーンゲルシート等の製造・販売）

【TEL】048-711-5621

【URL】<http://gmom.net/>

株式会社ドラEVER

当事者ならではの発想が
活きる求人サイト

2016年10月、「さいたま市ニュービジネス大賞2016」にて、株式会社ドラEVERが審査員特別賞を受賞しました。エントリープランは「運転職の面白さ×価値を伝えるドライバー求人サイト『ドラEVER』」です。運送業界の慢性的なドライバー不足を解消したいと願ってサイトを立ち上げた岡野社長。事業にかける思いと、多角化や水平展開という今後の目標についてうかがいました。

特典付き広告での
求人成功がヒントに

求人サイトを立ち上げたきっかけは、自分自身が人集めで苦労した経験があったからです。

私は、元はトラックのドライバーでした。21歳で独立し照栄物流株式会社を始めましたが、思うように人が集まりません。かつてドライバーは稼げる仕事だったようですが、近年は運送業界の仕組みの変化や参入規制緩和などの影響で運賃が下がり、それに伴って給料も安くなっていきました。当然人も集まりにくくなります。

悩んでいた時にヒントになったのがクーポンです。一時期、運送会社と並行して焼肉店も経営していたのですが、店の情報を雑誌に掲載するときにクーポンをつけるとお客様が増えます。求人広告にもその手法を応用できないかと考え、2か月目の給料で入社祝い金10万円支給という条件をつけてみました。すると一気に応募が増

え、今度は採用に迷うといううれしい状態になったのです。ドライバーが増えたことで車も仕事も増やすことができ、業績拡大につながりました。

検索条件を細分化し
マッチング率を高める

ひとつのきっかけで人を集められることを実感し、慢性的にドライバー不足に悩む運送業界のために何ができるかと考えてたどり着いた答えが求人サイトです。

一口に運送会社のドライバーといっても、業種、職種、車の形状などは多岐に渡ります。ドライバーが集まりにくいのは、求職者側にとっては、働きたくても希望する業界や職種の求人が見つからないという問題もあります。自分は求人側、求職側どちらのニーズも身をもって知っている。利益率も運送業より高い。ビジネス的にも絶対うまくいく、と確信しました。

前段階として、照栄物流の子会社でチャーター便専門の株式会社プロデリバリーズ内に事業部を設置。準備期間を経て、2017年1月に株式会社ドラ

代表取締役 岡野 照彦 氏

埼玉県出身、1978年生まれ。業界で経営を学び、現在運送に関わる事業を幅広く展開している。「運送物流業の社会的地位の向上」という理念のもとドラEVERを設立。自由な発想力で、様々なサービスを打ち出し、ドライバー専門求人サイトとして日本最大級といえる媒体に育て上げた。

▼照栄物流株式会社の本社及び供配センター



EVERを分社化しました。

当社の求人サイト「ドラEVER」は、軽貨物か大型トラックか冷凍車などの職種、勤務時間、雇用形態、福利厚生など細かい条件で検索できるのが特徴です。車の形状、輸送品目、社内サークルまで探せるこだわり項目もあります。動画が掲載されている企業もあり、転職後のイメージをつかみやすくなっています。

また、検索で上がってきた求人を、給与順や自宅から近い順などで並び変えることもできます。昨年11月からは、ドライバーが登録しオファーを待つスカウト機能を追加しました。

「さいたま市ニュービジネス大賞」は、金融機関から応募を勧められました。受賞後は信用度が増し、営業のアポイントを取りやすくなりました。応募してよかったと思っています。

コンサルティング業務や全国展開も計画

今はサイトの求人の職種がトラック中心なので、今後バスやタクシーなど

も増やしていくつもりです。2018年春には、地方の企業が自分で動画を撮りアップできる、ライト版のサイトを公開する予定です。

事業内容としては、運送会社のコンサルティングも行っていきたいと考えています。現在も会員企業には求人のアドバイスをしたり、年1回サポートセミナーを開いたりしていますが、将来的には運送会社設立と同時に契約していただけるようになるのが理想です。人手が足りないということは、業務過多の状態です。協力会社を探して仕事を均等化させれば、問題は解消されるはず。求人とビジネスマッチングで、仕事の均等化を図っていききたいと思っています。

拠点は現在、埼玉、千葉、神奈川ですが、2018年中に東京、大阪、名古屋オフィスを開業します。全国展開の後には違う業種にも目を向けたい。まだまだできることはたくさんあります。そしていつか上場するのが夢です。

支援内容・制度

創業者支援専門家派遣制度

創業者を対象とした年2回の専門家派遣制度を活用し、今後の事業計画の立案、遂行に向けたアドバイスを受けた。

さいたま市ニュービジネス大賞 2016 審査員特別賞受賞

ビジネスプランの実現に向けた支援のほか、受賞者紹介パンフレット、ポスター制作。製品紹介動画制作などで企業PRを支援した。

企業概要

株式会社ドラEVER

【所在地】さいたま市大宮区宮町2-60
永見ビル3FA

【創業年】2017年

【事業内容】インターネットを利用した求人、求職情報の提供

【TEL】048-645-4192

【URL】https://doraever.jp



▲常務取締役 加藤 智江 氏 その場しのぎの求人広告ではなく、様々な場面で役立つサイトを目指し、日々奮闘しています！



▲快適に仕事ができるようにカフェテラス風のオフィスの中で、求人サイト「ドラEVER」の情報を日々更新している運営スタッフ



▲昨年2月に行われたセミナーでは、運送会社目線の講演内容を盛り込み、数多くの企業様からご好評いただきました

株式会社デジタルベリー

クロスメディアの可能性を 世界にも。

「さいたまから日本を代表するクロスメディア総合提案カンパニー」を目指し、2004年に設立した株式会社デジタルベリー。当初、まだ認知されていなかったデジタルカタログの分野にいち早く取り組み、これまで1,200社以上の取引実績を重ねてきました。着々と成長し続けるとともに、2017年には海外にも拠点を構え、新たな展開も見せ始めています。



起業の場所を選んだのは 学生時代から慣れ親しんだ さいたまの地

大学を卒業して商社に入り、仕事に対しての自信もついた5年後に会社を立ち上げました。ゆくゆくは起業したいとの願いを叶え、さまざまなWEBサービスを考えて挑戦したものの、収益はなかなか上がりません。何か新しいサービスはないかと模索していた時に、デジタルチラシの存在を知って代理店となり、さらにはデジタルカタログの制作に力を入れるようになりました。大学時代からずっと埼玉に暮らし続け、「起業するなら埼玉で」と考えていたので、近所でみつけたレンタルオフィスに事務所を構えました。ちょうどその頃、さいたま市に補助金を申請した際の窓口が財団だったことから、財団の方とのつきあいが始まったのです。

これまでにさまざまな接点がありますが、そのひとつがベンチャー企業の経営者を対象に、財団が主催している

「さいたまベンチャー社長塾」です。第一期から通い続けており、講義内容を含め、そこで学んだことはすごく多いと実感しています。

企業の成長に欠かせない 人材育成にも財団のサポート

弊社は、「社員を育てること」を企業理念のひとつに掲げています。IT業界だけでなく、どこでも通用する社員であってほしいとの願いから、コミュニケーションも活発に行っていますが、その一環として開催しているのが社内でのプレゼンテーション大会です。開催にあたっては、財団が紹介してくださった中小企業診断士の先生などに審査をお願いし、指導もいただいています。半年に1回のプレゼンテーション大会は6年間で12回となり、審査員の先生方には、社員たちの成長を見守り、いっしょに育てていただいていると感じています。

以上のような会社独自の取り組みに、さいたま市や財団の方の手厚いサ

代表取締役 赤羽根 康男 氏

1976年 栃木県宇都宮市生まれ。埼玉大学教養学部卒業後、岩谷産業株式会社入社、日用品・家電の営業・企画・販促に従事。2004年、株式会社デジタルベリー設立。2005年デジタルカタログ事業を立ち上げ、現在まで1000社に導入。2007年ホームページ制作事業を立ち上げ、現在まで埼玉県内を中心に140社に導入。2014年埼玉県渋沢栄一ビジネス大賞特別賞受賞
趣味：海外旅行・サッカー観戦 座右の銘：実るほど頭を垂れる稲穂かな



▲当社のべらべらめくれるデジタルカタログ。使いやすさと動作スピードが好評で国内1200社のお客様に導入。ニトリ・ペルーナ等大手有名企業の利用も多い。

▼ホームページ制作では埼玉県内トップクラス140社の実績。埼玉大学の公式サイト1800ページの制作実績も。さいたま市内の企業、特に製造業・メーカーからの制作依頼が多い。



ポートいただいていた大変ありがたいです。「さいたま市」というくくりだと、一体感があるのかもしれませんが。財団を通じて様々な方との出会いがあり、ホームページの制作に携わるなど、弊社の仕事にもつながっています。

海外進出をさらなる ステップアップに さいたまから日本を代表する 企業を目指して

いずれは海外にも進出したいという思いを持っていました。一方で日本は今後、少子化傾向が高まり、デジタルカタログの分野の市場も縮小していくだろうとの見方もあることから、市場開拓のためにも海外で新たな展開を図る持つチャンスを窺っていました。昨年、急に思い立ち、これといった計画もないままシンガポールへ視察に行きました。社員がとってくれた新規開拓のアポを頼りに、まずはその会社を訪ねたところ、それを突破口に人脈がどんどん広がり、契約にもつながる

という結果に。8月にはシンガポールオフィスを開設することになり、その際にも財団がJETRO（日本貿易振興機構）を紹介してくれたので、事業展開に関することなど、アドバイスをもらうことができました。これからは、当社のスローガンである「さいたまから日本を代表するクロスメディア総合提案カンパニー」の実現に向け、シンガポールでもデジタルカタログをメインに、質の高いサービスを提供してまいります。

最近、少し残念に思うのは、さいたま市内にIT系のベンチャー企業がほとんどないことです。さいたま市がもっと魅力的なエリアになるよう、地域を活性化するためにも当社として何かできないかと考え、埼玉大学の企業研究会をサポートなどに取り組んでいます。お世話になっているさいたま市を盛り上げるために、我々、若い世代の企業も頑張るので、財団からもさらなるご支援をいただけたらと思います。



▲浦和駅徒歩3分のアクセスのよい立地。毎年新卒採用を行ない、音楽が流れる綺麗なオフィス内では、若手社員も多数活躍。



▲1月の彩の国ビジネスアリーナに出展。10年連続で会場入り口付近に出展し、積極的な集客を行なっている。

支援内容・制度

さいたまベンチャー社長塾 (第1期生)

さいたま市のリーディングカンパニーとなり得る若手経営者の育成を目的とした経営塾に第1期生として参加し、最終プレゼンテーション審査では塾生の中から最優秀塾生に選出されるなど積極的に取り組んだ。また、受講終了後も継続して経営塾に参加し、後輩経営者に対して先輩として様々な視点でのアドバイスを実施している。

専門家派遣制度

主に従業員育成の見地から、従業員のプレゼンテーション能力等のスキルアップを図る為、継続的に専門家派遣制度を活用し、指導を受けている。

個別相談

海外進出を展望する中、その考え方や具体的な取組についての相談を受け、埼玉県による支援拠点のアドバイザーやJETROの専門相談員など他支援機関とも連携し、現地での事業展開などについてのアドバイスを実施した。

企業概要

株式会社デジタルベリー

【所在地】さいたま市浦和区高砂2-13-19
K2ビル

【創業年】2004年

【事業内容】デジタルカタログ制作、ホームページ制作、印刷物制作

【TEL】048-814-1232

【URL】<http://www.d-berry.jp>

株式会社朝日ラバー

ゴムの可能性を追求し 将来に幸せをつなぐ

株式会社朝日ラバーは、シリコーンをベースにした高機能ゴム製品を手掛ける会社です。創立以来、他社にはない「とんがった」技術にこだわり、LED用のゴムキャップ、接着剤を使わない接着技術など画期的な製品や技術を生み出してきました。「ゴム屋だから、つないでみんなの幸せを高めるのが仕事」と話す渡邊社長。50期に向けて技術に磨きをかけ、さらなる変革を続けます。



3つのコア技術を源泉とし オンリーワンを生み出す

当社は1970年に川口で創業したゴム製品のメーカーです。ゴムというと、タイヤやチューブなどを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、当社は独自の技術を生かしたシリコーンゴム製品などを得意としています。

コアとなる技術は3つあります。色と光のコントロール技術、表面改質技術、マイクロ加工および素材変性技術です。このうち当社の大きな柱になっているのが、色と光のコントロール技術です。シリコーンを材料に光学的機能を持たせ、光をコントロールする技術で、「ASA COLOR」として日米で商標登録し、製品をブランド化しています。

製品は自動車のメーターパネルのランプなどに採用されています。メーターに赤や青などのランプがついていますが、LEDの光源そのもので独自の均質な色をつくり、大量に安定供給することは非常に困難です。ASA COLOR LEDは、LEDの

特性を測定・分類し、それらに応じたシリコーンゴム製のキャップをLEDにかぶせることで均質な光をつくることができます。再現できる色は1万色以上に及びます。

また、その技術開発の延長として透明度の高いシリコーン材料を開発し、耐UV性と耐熱性に優れたLED用のレンズも製造しています。

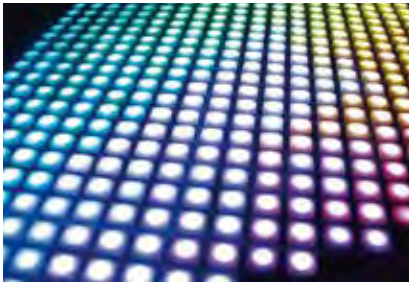
表面改質およびマイクロ加工技術、素材変性技術は、おもに医療機器の製造で活用しています。注射器のキャップやガスケットなどのゴム製品、血液やDNAなどの分析に用いられるマイクロ流体デバイスなどがあります。マイクロ流体デバイスでは、接着剤を使わず樹脂とゴムを積層して張り合わせる独自の技術で、微細かつ精度の高い加工が実現できています。

人材育成や産学連携で 財団の支援メニューを活用

さいたま市産業創造財団との出会いは、研究開発型ものづくり企業を対象とした「さいたま市リーディングエッジ企業」に認証されたことがきっかけです。

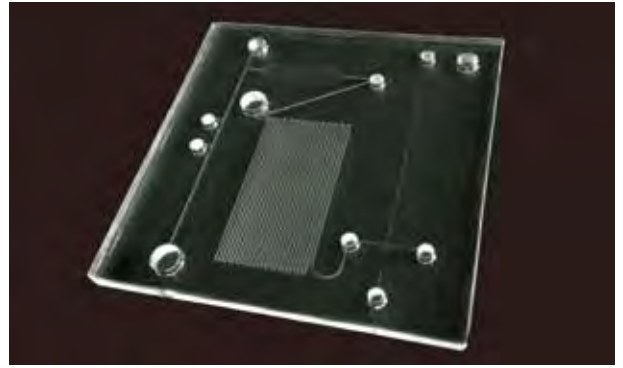
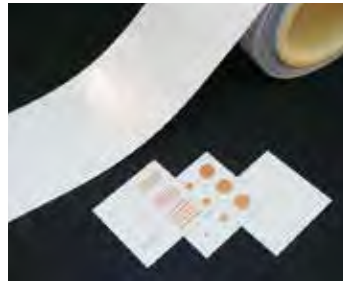
代表取締役社長 渡邊 陽一郎 氏

1967年1月5日福島県生まれ。1989年4月に同社入社、2004年6月にファインラバー研究所（現朝日FR研究所）取締役就任（現任）、2010年6月に取締役営業統括部長就任、2015年3月に代表取締役社長就任（現任）。
趣味：音楽鑑賞（クラシック）



▲ASA COLOR LED:蛍光体を配合したシリコンゴム製キャップをLEDに被せ、当社の光を操る技術で10,000色以上の均質の光を実現

▼ASA COLOR RESIST INK:高い耐熱性と耐光性、高反射率のレジスト材/LEDの発光効率向上や大電流化の要求に対応



▲マイクロ流体デバイス:流路・抽出・分離部などを一つのデバイス上に集積化・小型化し、生化学分析デバイスを当社の表面改質技術と素材変性技術で実現

認証企業向けの「新事業展開・新技術開発調査支援事業」を活用し、DNA解析チップのマーケット調査を実施しました。また、若手向けの人材育成研修「ものづくりエリート養成塾」に社員が参加しています。私自身も講師として登壇させていただきました。

当社が常に目指しているのは、「とんがった」技術や製品を生み出すこと。そのためには基礎力をつけることが大切です。「ものづくりエリート養成塾」で人材育成を行うのもそのひとつ。私自身も岩手大学で博士号を取得し技術面の基盤を強化しています。

産学連携事業も進めています。埼玉大学先端産業国際ラボラトリーのインキュベーションスペースに入居し、他社とともに睡眠時に呼吸波形を計測できる着衣型ウェアラブルデバイスを開発中です。

医療分野を次の柱に 「弾性無限への挑戦」が続く

当社は2020年に50期を迎えます。そこに向けて、目指す姿「①技術革新を基

盤に、新しい価値を創造し続ける企業になる。②現在の仕事に慢心せず、常に変革を求め、経営環境の変化に応じ継続的に磨きをかける。③人財こそが事業運営の要とし、人材の育成を行う」を掲げ、第12次中期経営計画を実行中です。

ひとつは、医療分野を早く次の柱にしていきたいという思いがあります。そのために、ドイツで開かれている医療機器部品の展示会「COMPAMED」に参加したり、昨年2月に医療・ライフサイエンス分野向けの工場を設立したりしています。

第12次中期経営計画のスローガンは「弾性無限への挑戦」です。創業者がカタログで使っていた言葉ですが、技術開発企業としての根っこを端的に表していると思います。ゴムの領域の中で、何をしてどうつなげていくのか。その答えは無限にあり、今はまだ見えていません。ただ、世の中で喜ばれるサービスが提供できるようになれば、自ずと答えは見つかると思います。それを願って、一步一步着実に歩みを進めていきます。



支援内容・制度

さいたま市リーディングエッジ企業 認証支援

獨創性・革新性に優れた技術を持つ市内の研究開発型ものづくり企業を「さいたま市リーディングエッジ企業」として認証し、企業の国際競争力向上とさいたま地域発イノベーションの創出を目指す。

人材育成支援事業（ものづくりエリート養成塾）

若手ものづくり人材を対象とした人材育成研修。「チームマネジメント」「QFD創造設計原理」「レッドオーシャン・ブルーオーシャン戦略」「TOC・品質工学」を学び、将来の幹部候補を育成している。

産学連携支援センター埼玉

産学連携に関するワンストップ相談窓口として、産学連携コーディネーターによる産学連携相談、産学連携マッチング支援、競争的資金獲得支援や産学交流促進などを行っている。

海外展開支援

海外市場開拓を志向する研究開発型ものづくり企業に対し、ドイツ バイエルン州の産業クラスターとの交流を軸に海外企業との新ビジネスやアライアンス創出を支援する。

企業概要

株式会社朝日ラバー

【所在地】さいたま市大宮区土手町2-7-2

【創業年】1970年

【事業内容】工業用ゴム製品の製造・販売

【TEL】048-650-6051

【URL】<http://www.asahi-rubber.co.jp>

福利厚生制度「ワークジョイさいたま」に入会してみて

■ 株式会社チェリービー



cherrybee



代表取締役 山口 正人 氏

私たちは、お客さまの想いとこだわりを映像を通してカタチにし、お客様に喜んで頂けるよう日々精進しており、これまでも多くの大手・中小企業や行政の映像を制作し、創業から着実に受注を増やしてきました。

映像業界は、労働環境が特殊な事情があり、人材の育成確保・定着率を上げることが重要な課題となっております。働きやすい環境作りのために、スタッフの勤労意欲向上に繋がる福利厚生制度導入の必要性を感じていた時、日頃からご支援いただいている財団から「ワークジョイさいたま」の福利厚生制度があることを紹介していただき入会しました。

ワークジョイさいたまのサービスは、共済給付やレジャー施設の割引など、少ない負担で本人や家族が利用できるメニューが充実していて、私自身、健康管理の一環で毎年人間ドックを受診しているので、受診料の一部が助成される制度は非常に助かっております。

弊社は、業績の安定とともに受注数も年々増加傾向にあり、更なる優秀な人材確保が求められています。アットホームな弊社の雰囲気に加えて福利厚生制度を完備しているという点で働きやすい環境をPRすることができるので、求人募集の際に大きなアドバンテージになっていると実感しております。

今はスマートフォンで手軽に動画が作れる時代。今後、同業他社と差別化を図っていくために、私たちは「お客様に創造を超える喜びを提供する」をポリシーに、映像制作だけでなくウェブ制作とデザインもできるクリエイティブな集団作りを目指してまいります。



▲埼玉県で一番な映像制作を目指してスタッフ一同励んでいます。



▲県内のスタジオでナレーション収録、クオリティに妥協はしません。



▲ミュージックビデオも作成します。



企業概要

株式会社チェリービー

【所在地】さいたま市緑区原山3-14-13-301

【創業年】2008年

【事業内容】動画制作(企業プロモーション映像、プライダル映像 他)

【TEL】048-764-9714

【URL】<http://www.cherrybee.tv/>

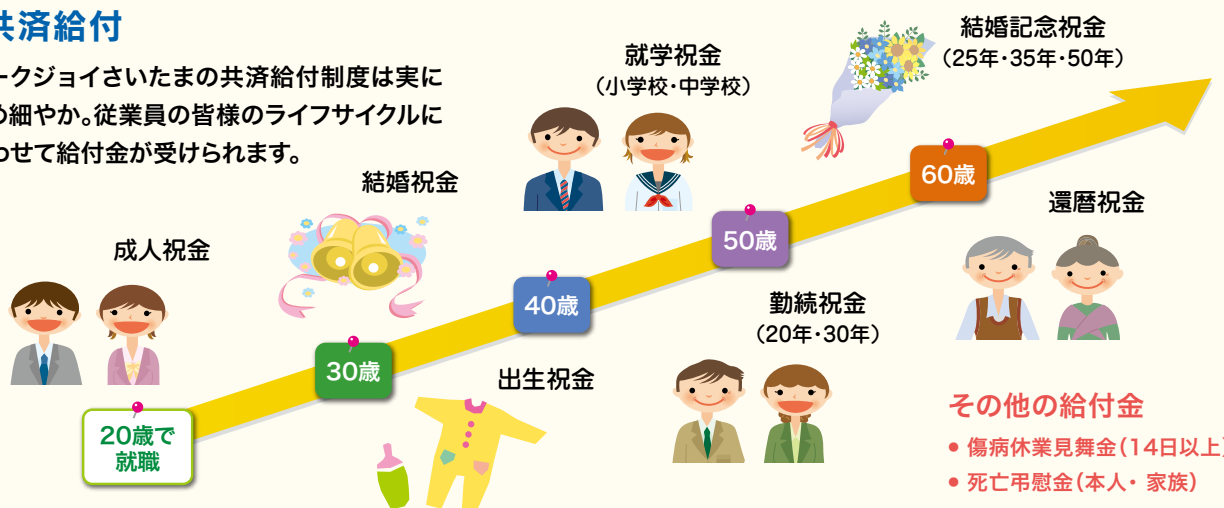
良い職場づくりをサポート!! ワークジョイさいたまの福利厚生制度

月々600円で充実の福利厚生制度 【入会金と会費】会員1人につき 入会金…500円 会費(月額)…600円

豊富なメニューが1人1ヵ月600円で利用可能!

共済給付

ワークジョイさいたまの共済給付制度は実にきめ細やか。従業員の皆様のライフサイクルに合わせて給付金が受けられます。



健康

人間ドック・脳ドックの受診料を一部補助(最大4,000円)します。



生活資金の融資・あっせん

結婚、出産、葬祭など、不時の出費に対応する生活資金融資(限度額100万円)をあっせんします。



ワークジョイさいたま人気利用ランキング

- 第1位 東京ディズニーリゾート® コーポレートプログラム利用券 [1,000円割引に]
- 第2位 東武動物公園 [フリーパス引換券が1,500円/1枚に]
- 第3位 ジェフグルメカード [5,000円分を4,500円で]
- 第4位 映画鑑賞券 [イオンシネマ・MOVIX、ユナイテッド・シネマの鑑賞券が会員価格に]
- 第5位 ローソンチケット利用補助 [Loppiを通じてチケットを購入する際に500円割引に]

約2,000件のサービスメニューを取揃えています。



勤労者福祉サービスセンター (愛称: ワークジョイさいたま)

TEL. 048(840)1133 FAX. 048(859)1711 E-mail workjoy@sozo-saitama.or.jp

<http://www.sozo-saitama.or.jp/workjoy>

ワークジョイさいたま

検索



オール埼玉産素材の クラフトビールを目指して

株式会社氷川ブリュワリー

大宮に生まれ育ち、50代半ばまで大手カメラメーカーのエンジニアだった菊池氏。当時、大宮駅前の大型商業施設が移転して、駅からひとが出てこなくなるのではないかと危機感を持ち、「大宮の地域活性化を目指したクラフトビール工房設立」のプランで「さいたま市ニュービジネス大賞(SNB大賞)2013 コミュニティビジネス賞」を受賞。受賞後まもなく会社を退職し、2014年にさいたま市初のクラフトビール工房「氷川ブリュワリー」を創設されました。

市内初のクラフトビール工房…様々なハードルがあったかと思います

大宮の街なかで、ブリュワリーが出来るような物件を探すのに苦労しました。地元の不動産屋さんがビルのオーナーを説得してくれて、物件を借りることができました。しかし、ビールを作るには電気もガスも容量が足りないことが判明。建物全体で使える容量は決まっています。困り果てて、他の階の入居者に「お宅の契約容量を減らして、うちに回していただけないか」とお願いしたところ、皆さん快諾してくださいました。周囲の協力がなければ、ブリュワリーは開業できなかったと思います。

そんな中で、財団のご支援で役立った部分はありますか？

SNB大賞のキャッチコピーには「軌道に乗るまで徹底支援」と書かれているのですが、まさにその通りで現在も専門家派遣などの支援を受けています。SNB大賞の受賞者やファイナリストなど、地元起業家同士の人の輪を繋いでくれていることも役立っています。

地域の農産物を使ったクラフトビールにも挑戦されていますね

これまでに、さいたま市内産のサトウキビや、さいたまヨーロッパ野菜研究会のビーツを使ったピンク色のビール「クラフトビーツ」を発売しています。2015年からは、さいたま市内産ホップの試験栽培と醸造を始めました。さらに2017年からは、さいたま市産業創造財団や県内支援機関の協力を得て、「オール埼玉産素材のクラフトビール」開発を目指してビール麦の試験栽培も始めています。

最近では県内のマイクロブリュワリーと交流を深めていると伺いました

現在、埼玉県内には8つのマイクロブリュワリー（小規模ビール製造業者）があります。他のブリュワリーも地元産の原料を使って地域色を出したいと考えていますが、実際にビール麦やホップを地元で調達・加工しようとなると、コストや設備など多くの問題に突き当たります。そこで、同じような課題を抱えるブリュワリー同士で共同経済事業を行って、マイクロブリュワリー特有の問題を解決していきたいですね。

株式会社氷川ブリュワリー

【所在地】さいたま市大宮区高鼻町1-36-1

【創業年】2014年

【事業内容】クラフトビールの製造・販売

【TEL】048-783-5123

【URL】<http://hikawa-brewery.com>



↑大宮駅から徒歩7分と、アクセスの良い場所にあるブリュワリーパブ
日替わりのクラフトビールはハーフパイント600円から



株式会社氷川ブリュワリー 代表取締役
菊池俊秀氏

さい たま

さいたま市の新たな地域
ブランドとなる商品開発
までの道のり、今後の取り
組みについて伺いました。





右:餃子の宮 でんでん 代表取締役
熊田雅好氏 左:取締役 飯田敏朗氏

「彩の国盆栽餃子」で 地域を活性化！

餃子の宮 でんでん

「さいたま市ニュービジネス大賞2016 ビジネスプラン賞」を受賞。餃子専門店「餃子の宮 でんでん」を開業して2年目を迎えた同社。先輩受賞者の氷川ブリュワリー・菊池社長から「地域に応援されるような商品を作ったほうがいい」とアドバイスを受け、たどり着いたのが、「彩の国盆栽餃子」を通じた地域活性化のビジネスプランでした。今後の事業展開が注目されています。

あえて、餃子と盆栽という異質なものを組み合わせた理由は何でしょう？

2017年に大宮で世界盆栽大会の開催が予定されていて、地元で「大宮盆栽にまつわる名物を作ろう」という動きがあったからです。餃子の形を盆栽の松になぞらえ、小松菜パウダーで皮を緑色に染め、和風だしで食べる餃子を試作しました。お客様に試食していただいたところ、好評だったため商品化を決断しました。

ほかにも地域ブランドとなる商品を次々に開発していますね

SNB大賞の受賞をきっかけに、さまざまな埼玉県産食材の生産者とつながることができました。現在、餃子の皮は埼玉県産小麦を使ったスーパー全粒粉、豚肉も県内産の「小江戸黒豚」を使用しています。さらに昨年、「餃子フェス」というイベント用にインパクトのある餃子を作ろうと考え、「さいたまヨーロッパ野菜研究会」のピーツを使った、赤と黄色のカラフル餃子を開発しました。会場では「インスタ映えする」と話題になり4000食を販売。年末のギフト商品としても人気でした。

財団からのご支援で役立ったことはありますか？

以前は「目標」はあるけれど「そこに至るまでの細かいステップ」が見えていませんでした。定期的に財団の経営相談を受けるようになって、自分から「これをやる」と宣言して、次の相談までに宿題をこなす習慣ができました。1歩目、2歩目のステップを細かく刻むことで、自分自身が進歩した実感を持てるようになりました。

最後に、今後の「でんでん」の事業展開についてお聞かせください

餃子専門店の海外展開を考えています。今年1月に、ベトナムのハノイでテストキッチンに挑戦しました。ベトナムでは餃子は「和食」のカテゴリーですが、日本のような美味しい餃子は食べられません。国内では地域ブランドを生かしながら、海外では日本の健康で美味しい餃子を伝えていきたいと考えています。

ブランド

彩の国盆栽餃子↓



←小江戸黒豚×ヨーロッパ野菜
カラフル焼き餃子

餃子の宮 でんでん

【所在地】さいたま市中央区上峰1-1-3

【創業年】2015年

【事業内容】餃子専門店

【TEL】048-753-9398

【URL】<http://denden-gyouza.com>

地元高校生とのコラボ和菓子で文化をつなぐ

製品開発、新規顧客開拓などを狙ったコラボ商品を近年多く見かけるようになりました。とかく単発になりがちなのコラボ企画を12年間継続している和菓子屋さんがあります。さいたま市岩槻区の有限会社藤宮製菓です。

さいたま商工会議所からの紹介で財団を知り、専門家派遣制度を活用。販売促進などのアドバイスを受けたのち、地元高校生とのコラボ和菓子事業で「さいたま市ニュービジネス大賞2011 コミュニティビジネス賞」を受賞しました。

発売されたコラボ和菓子は12年間で25種類。なかでも毎年3月「人形のまち岩槻まちかど鑑めぐり」に合わせて期間限定販売される「ドール巻き」は、女雛、男雛をモチーフにした餡を包んだ薯蕷(じょうよ)饅頭でロングセラー商品です。代表の佐藤さんは「和菓子離れが顕著になるなかで、若い人たちにも和菓子の良さを知ってもらいたい」という熱い思いでコラボ企画を続けてきました。「国内産の小麦粉や小豆などを使い、昔ながらの製法や和菓子の魅力を伝えつつ、新しい考えや嗜好を取り入れることが文化の継承には必要」と変化をおそれることなく、時流に逆らわない柔軟な姿勢はどの業種にも共通する大切な経営資質といえるでしょう。



代表取締役
佐藤 高広 氏

「2年後の人形博物館のオープンに向け、地域のお菓子屋さんが手を取り合って岩槻の名物お菓子を作りたい」と更なる挑戦を続ける佐藤さん。



有限会社藤宮製菓 本町店

【所在地】さいたま市岩槻区本町2-1-32

【創業年】1955年

【事業内容】菓子の製造販売

【TEL】048-756-1569

【URL】<https://fujimiyaseika.jimdo.com/>

※西町店、東岩槻(ヨークマート)店もあります。



町家づくりの店内には常時40種類ほどの和菓子が並ぶ。一番人気は「かりんとう饅頭」。取材時は春を感じさせる鮮やかな上生菓子が目を楽ませた。

注目

気になるあの企業の魅力に迫る

注目企業におじゃまします！

珈琲からはじまるさいたま市の新たな「おもてなし文化」

さいたま市大宮区・氷川参道で人気のスペシャルティコーヒー専門店「熊谷珈琲」2号店が昨年末、浦和PARCOにオープンしました。

創業まもなくして珈琲のエスプレッソマシンや焙煎機を購入する際に、ホームページで財団を知り、融資相談に訪れました。代表の熊谷さんは「相談員の方は、経営を続けていくためにそれぞれのステージに必要なことを教えてくださいました。」と当時を振り返ります。

「もっと多くの方に熊谷珈琲を楽しんでいただきたい」と2号店を検討している矢先にPARCOからオファーを受け、出店。「本店とPARCO店のお客様は客層が違います。PARCOのお客様は珈琲豆だけを購入される方が多いです。ゆっくりして良い気持ちで帰っていただくという本店の雰囲気は残しつつ、お客様のニーズやトレンドも常にキャッチしていきたい。そのために今、勉強中です。」と熊谷さんはいいます。

現在は5人のスタッフを雇用。「夫婦2人で経営している時と今は違います。スタッフみんなで想いを共有し、お客様がほっとする空間を創っていきたい。観光客の皆様にも立ち寄っていただきたいと思っています。」一杯一杯に淹れられた珈琲、落ち着いた音楽やくつろぎの空間で、さいたま市の新たな「おもてなし文化」が熊谷珈琲から生まれることへの期待が高まります。



お店の顔である焙煎機と熊をモチーフにしたオリジナルキャラクターはお客様から「親しみやすい」と好評。季節に合わせたオリジナル商品は贈り物として購入されるお客様も多い。



代表取締役 熊谷 典行 氏

「熊谷珈琲でほっとしたいからPARCOに行こう!と思っていただけなら嬉しいです。」と話す熊谷さん。

株式会社熊谷珈琲 氷川参道本店

【所在地】さいたま市大宮区浅間町2-46浅間町ハウス1F

【創業年】2009年

【事業内容】自家焙煎珈琲販売

【TEL】048-607-5432

【URL】<http://kumagaicoffee.com/>

※浦和PARCO店もあります。

イノベーションで未来を創る

CONTENTS

企業 Interview

ギネナム株式会社

医療用シリコンゲルシートで、人々を笑顔に。

代表取締役 久保田 秀一 氏

P2

株式会社ドラEVER

当事者ならではの発想が活きる求人サイト

代表取締役 岡野 照彦 氏

P4

株式会社デジタルベリー

クロスメディアの可能性を世界にも。

代表取締役 赤羽根 康男 氏

P6

株式会社朝日ラバー

ゴムの可能性を追求し将来に幸せをつなぐ

代表取締役社長 渡邊 陽一郎 氏

P8

福利厚生制度「ワークジョイさいたま」に入会してみて P10

株式会社チェリービー

代表取締役 山口 正人 氏

ワークジョイさいたまの福利厚生制度 P11

「さいたまブランド」 P12

株式会社氷川ブリュワリー

代表取締役 菊池 俊秀 氏

餃子の宮 でんでん

(社名: 株式会社でんでん) 代表取締役 熊田 雅好 氏

注目企業におじゃまします! P14

有限会社藤宮製菓

代表取締役 佐藤 高広 氏

株式会社熊谷珈琲

代表取締役 熊谷 典行 氏

平成29年度 イベントレポート P16

さいたま市ニュービジネス大賞2017
BIZ SAITAMA2017

「さいたま市ニュービジネス大賞2017」受賞プランが決定しました!

昨年で13回目となるビジネスプランコンテスト「さいたま市ニュービジネス大賞」の最終審査会が平成29年10月26日さいたま市産業文化センターで行われ、応募総数118件の中からグランプリを含む7つのプランが受賞しました。来場者のみなさまからは「回を重ねるごとに出場者のプレゼンレベルが上がっている」「見ているだけで楽しい」と好評でした。受賞だけで終わらないのが「さいたま市ニュービジネス大賞」の強み。軌道に乗るまで私たちが全力でサポートします!ぜひご期待ください。



▲受賞者一同の記念撮影

イベントの詳細は特設サイトにてご紹介しております。▶ <http://www.snb-saitama.jp/>

グランプリ

渡邊 豊文 氏 / 有限会社日動クリーニング

プラン名: 業界初! ベッドマットレスの丸洗い 除菌・消臭・完全乾燥の出張クリーニングサービスの事業化

さいたまブランド賞

高木 治 氏 / 株式会社レジーナ

プラン名: バイオスキン素材による医療教材の開発

女性起業賞

中島 歩美 氏 / 株式会社銀虎

プラン名: 量 × 盆栽 = ∞(無限大)

～盆栽の街さいたま市の量職人が世界に贈る「盆彩量」～

ソーシャルビジネス賞

森 俊明 氏 / 株式会社リパティ・イノベーション

プラン名: 業界初! ダブルの見守り「みまサポ2」で
シニアが安心できる街づくりを!

ものづくりスター賞

中村 泰久 氏 / ギネマム株式会社

プラン名: 帝王切開出産の傷あとキレイで
2重の喜びを女性に知ってもらいたい!

審査員特別賞

横山 拓 氏 / 路地裏ガレージ事務局

プラン名: 路地裏ガレージマーケットから広がる
様々な事業展開とさいたま活性化プロジェクト

学生起業賞

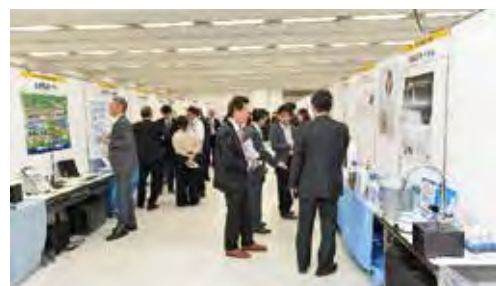
山田 華鈴 氏・加藤 早織 氏・窪田 友恵 氏・孫 志強 氏
/ 国士舘大学 Pickers

プラン名: Picker ～最適の体育館と仲間を探します～

BIZ SAITAMA2017

「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展2017」が開催されました。

ビジネスマッチングイベント「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展2017」はさいたま市の重点施策(医療・ヘルスケア、環境・新エネルギー、防災)に沿った技術ニーズと、解決に寄与するシーズを広く募集し、年間を通じたビジネスマッチングを実施するものです。150件近い技術ニーズに対し、参加企業132社から様々な技術提案がなされ、800件に迫る商談が実施されました。



▲展示ブースを訪れる来場者

Next Stage <2018年(平成30年)3月発行> No.33



公益財団法人 さいたま市産業創造財団

TEL 048-851-6652 FAX 048-851-6653

〒338-0002 さいたま市中央区下落合5-4-3さいたま市産業文化センター4階

URL <http://www.sozo-saitama.or.jp> E-mail shien@sozo-saitama.or.jp

産学連携支援センター埼玉

TEL 048-857-3901 FAX 048-857-3921

〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2新都心ビジネス交流プラザ3階

